

# 学校図書館支援通信



174号

令和5年度 市川市教育センター

## 司書教諭合同研修会

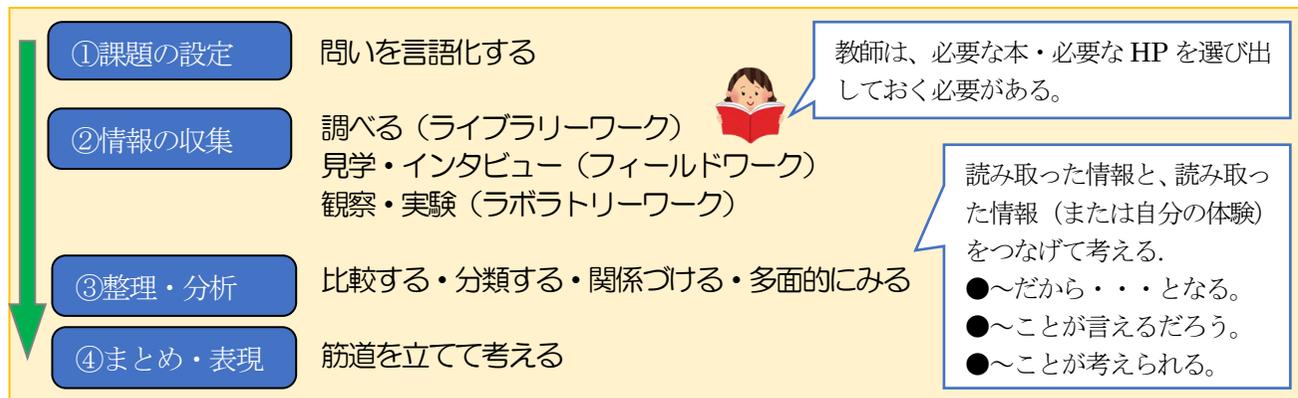
7月24日(月)に司書教諭及び若年層を対象とした「司書教諭合同研修会」が行われました。講師は、放送大学客員准教授 塩谷 京子 先生です。学校図書館には3つの機能(※1)がありますが、今回は主に「情報センター機能」における情報リテラシー教育(情報を活用する力)の推進についての講話をしていただきました。

研修会の冒頭では、司書教諭、学校司書、教諭のそれぞれの役割についての話がありました。

- 司書教諭 : 学校図書館活用の全体を担い、また活用の提案をする人
- 学校司書 : 学校図書館を整備する人
- 教 諭 : 学校図書館の機能を活用する人

国語科学習指導要領「知識及び技能」には、情報と情報との関係についての記述があり、小・中学校9年間を通して体系的に学ぶように目標が示されています。その上で、塩谷先生からは、情報の活用が探究的な学習につながることで、そして探究的な学習のプロセスには4つの段階があるというお話がありました。

※「探究」…自分で立てた問い(課題)に対して根拠を持って自分の考えを示すこと。



児童生徒の探究を見据えて、教師が系統立てて指導することが大切だということです。「探究」は調べたことを写して(要約して)まとめることや、データを整理して並べることではありません。調べた情報を根拠として自分の考えを形成することができる児童生徒の育成を、教師が担っているのだということを感じました。



### ※1 学校図書館の3つの機能

- 読書センター機能…読書活動の推進および読む力の育成
- 学習センター機能…授業のねらいに沿った図書館資料の活用
- 情報センター機能…情報活用能力の効果的な育成

～ひろげよう! 図書館の輪・リレー執筆～



大柏小学校は、昨年「創立150周年」を迎えた伝統ある学校です。正門を入ると、すぐ右側に本を読む二宮金次郎の像が子どもたちを迎えています。

本校では、6月と11月の年2回、読書月間が行われます。あまがえる読書月間(6月)では、2～6年生のひとりひとりが「おすすめの本」を紹介し、昇降口や廊下に掲示されました。そして、期間中に決められた目標冊数に達すると、賞シールとお楽しみ券がもらえます。毎年、たくさんの子が目標を達成します。また、業間休みと昼休みは、自分で作るオリジナルおり作りでにぎわいました。図書委員も大忙しです。

今年は、「目指せ、年間100冊!」を掲げ、家庭にも協力を呼びかけ頑張っています。

市川市立大柏小学校 学校司書 吉田寛子



↑おすすめの本



←おりづくり



### 学校図書館活用の授業展開

## 授業力アップ研修会

9月より、4年目教職員の悉皆研修「授業力アップ研修会」が行われます。本研修は、全体研修(9月6日実施予定)にて学校図書館活用について学んだあと、各自が学校図書館を活用した授業を展開するものです。

GIGA スクール構想が展開する中で、図書館とICT活用のベストミックスを図ることは喫緊の課題でもあります。学校図書館を活用した授業を模索し、その振り返りを行うことで、今後の学校図書館の展望を見据えることができるのではないかと考えております。

学校図書館の活用に当たっては、各学校の学校司書の先生と連携をとることが第一歩です。

研修で実践された内容は、市川市の学校図書館活用例として周知し、学校図書館の更なる活用の推進を目指していきます。

※昨年度の実践内容は、以下の場所に格納してあります。

00\_市内共有>99\_教育委員会>R04年度>教育センター  
>10\_生きる力・夢や希望を育む学校図書館

『学校図書館支援通信』は、市川市教育センターホームページでもご覧いただけます。

市川市教育センター

〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4

TEL 047-320-3335 FAX 047-320-3352

<http://www.ichikawa-school.ed.jp/index.html>